



東京理科大学 総合研究機構 研究機器センター

このページを印刷する



カテゴリ	1. 質量分析装置
登録番号	1096
設備名	飛行時間型質量分析装置
設備概要	天然物・有機化合物・金属錯体から蛋白質のような生体高分子・高分子ポリマーまでのサンプルを高感度・高分解能・高精度で解析できる。特に低分子領域においてはミリマスレベルの精密質量を正確に測定することにより、元素分析まで可能である。
機種名	microTOF-NR focus (Bruker Daltonics)
設置場所	神楽坂校舎5号館地下2階 化学系機器分析センター
性能・適用分野	性能：内標での質量精度：3ppm、分解能 (FWHM) 15,000、 スペクトル取込速度20 spectra/ s 適用分野：有機化学、高分子化学
利用料金	1,000円/1検体
	使用を希望する研究室に1名の「利用責任者」を置く。利用責任者は運用責任者が指名する。利用責任者は使用法に精通し、責任をもって各研究室の当該装置の使用を適切に管理する義務がある。利用責任者は各研究室内で正しい使用法の講習を行う義務がある。利用責任者から正しく講習を受けた学生のみ測定

利用方法（利用申込）	<p>することを認める。</p> <p>学内利用予約システムhttp://wg6.yes.ne.jp/cgi-bin/tus/ag.cgi?より使用時間を予約する。利用者は自ら機器を稼働し、測定を行う。</p> <p>LC/MS gradeの溶媒を用い、試料を0.1mM以下の濃度に調製し、シリンジポンプを用いて試料の測定を行う。PCによる解析が可能。溶媒に溶けないサンプルは測定できない。</p> <p>利用者は測定終了後、測定試料が残存することの無いように複数回きれいな溶媒で洗浄する。測定試料に由来するピークが消失したことを確認したのちに、利用者はそのバックグラウンドのチャートと使用時間、氏名等を記入し、それを所定のファイルに綴じること。</p> <p>利用者は測定機器に付帯するノートに氏名、試料の分子量など指定された項目を正確に記入すること。</p>
測定依頼方法（申込）	依頼測定不可
備考	使用を希望する研究室に1名の「利用責任者」を置く。
運用責任者・担当者	椎名 勇 / 殿井貴之
内線	神・71-5794
電子メールアドレス	shiina@rs.kagu.tus.ac.jp